

救急科専門医研修ネットワークプログラム (聖隷浜松病院)

1 はじめに

我々のプログラムは、聖隷浜松病院（救急・集中治療科）を基幹研修施設とし、静岡県内外の連携施設および関連施設からなる研修施設群を形成しています。基幹研修施設である聖隷浜松病院では、ER と ICU の両方を備えた研修が可能です。ER では病院全体の協力の下、1 次～3 次救急のすべてを受け入れています。また、救急・集中治療科は ICU 専従医も兼務しており、集中治療専門医の指導の下で集中治療の研修を行っています。ICU では各科の専門医や多職種と連携を取りながら、重症患者の全身管理を学びます。



静岡県内の連携施設および関連施設としては、聖隷三方原病院（高度救命救急センター、ドクターヘリの基幹施設）、浜松医科大学附属病院（研究活動・教育活動や医療体制を見据えた救急医療）、静岡済生会総合病院（中核都市の救命センター）、静岡県立こども病院（小児救急診療、PICU 診療）、西伊豆健育会病院（世界標準を見据えた地域医療）などがあり、静岡県内だけでも十分な研鑽を積むことが可能です。

プログラム責任者

聖隷浜松病院 救命救急センター長 兼 救急・集中治療科部長 土手 尚

2 目的

救急医、集中治療医としての個人技能の習得だけでなく、医療リソース（人材、薬剤、資機材など）のマネジメント能力も磨き、病院や地域全体に貢献できる人材を目指します。

他科研修の途中やその前後で「救急対応や重症患者管理に強くなりたい」と考えている方にもお勧めです。

3 専攻医受入数

各学年 4 名

4 目標

専攻医 1 年目前半は指導医とともに診療を行い、ER や ICU での診療に慣れていただきます。専攻医 1 年目中盤からは到達度に応じて裁量を広げ、1 年目後半には ICU 夜勤の開始を目指します。

専攻医 2 年目から 3 年目には様々な臨床判断や後輩の指導を通じて知識や技術の定着を図り

つつ、勤務帯のリーダー医師としてのマネジメントや、重症患者診療におけるコマンダー経験も増やしていきます。

5 特徴

聖隷浜松病院 救急・集中治療科の特徴は以下の通りです。

- 豊富な症例（年間救急搬送 約 7000 件、年間集中治療管理 約 1000 件、入院担当 約 350 例）を専攻医 1 年目から最前線で経験し、指導医のサポートのもとで、臨床判断（EBM や臨床推論の定石から経験則まで）や手技を数多く経験することで、救急医としての early exposure（早期経験）を積みます。
- 専門医取得（救急科専門医、集中治療専門医）に必要な症例や手技の経験に困ることはありません。
- ER では 1 次～3 次まで全てに対応します。マイナーエマージェンシーから、重症外傷対応、ECPR のコマンダーまで幅広く経験できます。夕方には当日の ER 全症例を振り返り、ラーニングポイントを共有しています。
- ICU では救急症例（敗血症、外傷、熱傷、中毒、各内科疾患の重症例、緊急手術症例など）から予定手術後（心臓大血管手術、頭頸部腫瘍手術など）までを、By system（臓器毎のアセスメント）の思考に基づいて診療します。
- 救急医療や集中治療は超急性期～急性期の総合診療的な側面もあるため、救急・集中治療科の入院症例を通じて総合内科的な診療、高齢者診療、終末期医療、地域連携等も経験します。
- 各自の志向に応じ、院内の他科研修も調整します（IVR、麻酔科、外科、内科など）。
- 学術活動も積極的に行っており、毎年全国学会での発表や論文発表を行っています。臨床研究の実施も可能です。また病院の図書室機能が非常に充実しており、資料取得に困ることはありません。
- 各種資格取得、講習会参加のサポート（費用負担、勤務調整）もあります。ICLS、JATEC、FCCS のプロバイダー資格は全員が取得しており、インストラクター活動も支援します。
- ER、ICU の診療に役立つ情報共有（さまざまな tips や有用な文献など）は、チャットツール（Slack など）を活用し、該当症例があったときにタイムリーに行っています。

静岡県外も含めた連携施設は、下図の施設などがあります。静岡県西部地域では 3 施設（聖隷浜松病院、聖隷三方原病院、浜松医科大学医学部附属病院）がそれぞれに独自性を持った基幹プログラムを策定していますが、相互のプログラムが協力しあいながら教育が実施できるような体制がとられています。

聖隷三方原病院	ドクターヘリなどの病院前診療
浜松医科大学附属病院	医学研究、学生教育、災害医療、地域医療システム
神戸市立医療センター中央市民病院	大規模な北米型ER、システマチックなICU
西伊豆健育会病院	地域医療、総合診療、整形外科、整形内科
千葉ろうさい病院	外科系救急診療、豊富な手技経験、ECMO
日本医科大学付属病院	首都圏の高度救命救急センター
静岡県立こども病院	小児救急診療、小児集中治療
鹿児島県立大島病院	奄美大島の救命センターでヘリ搬送、神経集中治療など
一宮西病院	大都市圏近傍のアクティビティの高いER
その他	各自のニーズに応じて、連携先の追加も行います

6 研修期間・カリキュラム

研修期間は3年間です。研修スケジュールの例を下記に示します。特定の必修研修パターンは定めていないため、各自のニーズ（習得したい技能、経験したい施設、居住地など）に応じて調整します。

1年次	聖隷浜松病院 ER診療、ICU診療、一般病棟診療（救急・集中治療科入院例）12ヶ月	
2年次	聖隷浜松病院 ER診療、ICU診療、一般病棟診療（救急・集中治療科入院例）9ヶ月	連携施設① 3ヶ月
3年次	聖隷浜松病院 ER診療、ICU診療、一般病棟診療（救急・集中治療科入院例）9ヶ月	連携施設② 3ヶ月

7 研修病院群

連携施設： 聖隷三方原病院、浜松医科大学医学部附属病院、神戸市立医療センター中央市民病院、千葉ろうさい病院、日本医科大学付属病院、静岡済生会総合病院、静岡県立こども病院、鹿児島県立大島病院、日本赤十字社医療センター、一宮西病院

関連施設： 西伊豆健育会病院

8 問い合わせ先

総合病院聖隷浜松病院 人材育成センター E-mail: hm-kenshu@sis.seirei.or.jp

TEL 053-474-2261 FAX 053-474-2262

9 「静岡県キャリア形成プログラム」における取扱い

(1) 領域、プログラムリーダー

領域：救急科、プログラムリーダー：救急・集中治療科 土手 尚

(2) キャリア形成プログラム受入見込み数

2名

(3) 具体的なコース

後期研修、後期研修後の7年間のうち4年間は医師少数区域または医師少数スポットで勤務

初期研修	後期（専門）研修	後期（専門）研修後
2年	3年	4年
県内病院	【基幹病院】 聖隷浜松病院（2年6ヶ月間） 【連携病院】 (4)に記載の医療機関 (各3ヶ月間、2カ所)	(4)に記載の医療機関

(4) 勤務する医療機関

二次医療圏	後期（専門）研修	後期（専門）研修後
賀 茂	<u>西伊豆健育会病院</u>	後期（専門）研修後に勤務する医療機関については、調整中
熱海伊東		
駿東田方		
富 士		
静 岡	静岡県立こども病院、静岡済生会総合病院	
志太榛原		
中東遠		
西 部	聖隷浜松病院、聖隷三方原病院、 浜松医科大学医学部附属病院	

※下線は、医師少数区域、医師少数スポットに所在する病院

(5) 取得できる資格

救急科専門医、集中治療科専門医（救急科専門医取得後）

（6）問い合わせ先

8を参照ください